

ガレージのある家

ARCHITECTURE
FILE vol. 26
建築家作品集

特集1
GLDK
ガレージ+LDKの時代到来

Garage Life
特別編集

特集2
消費税UP前に
ガレージハウス?

建築家が建てた
最新実例集16例

全国建築家リスト



趣味趣向が反映された お気に入りの遊空間。

公私ともに仲の良いデザイン&プロデュース会社「グース (goose)」にガレージハウスづくりを託した高木さん。出来上がった家は、住まい手の趣味趣向を反映したモダンなデザインのガレージハウスだった。愛車を身近に感じられるこの家は、忙しい日々の疲れを取り、心身ともにリフレッシュできる大切な場になっている。

text/Natsue-ISHIKURA (石倉夏枝) photo/Keigo-KIMURA (木村圭吾)

▶ 高木邸 / 三重県 ▶ 設計・デザイン / 株式会社グース (goose)



新居を建てる前は、クルマで10分のところにガレージを借りていたという高木さん。今は常に愛車が身近にあるので、以前とは比べものにならないくらい乗る機会が増えたという。



愛車・ランボルギーニのガレージと趣味室、ウォークインクローゼットがひとつとなった、高木さんお気に入りの“遊空間”。全体が黒で統一されたダンディな空間だ。



ガレージの横に設置された趣味室は、高木さんにとって心身ともにリフレッシュする場所であり、時には、5歳になる息子さんとコミュニケーションをはかる大切な場所でもある。



「ここにあるのはまだほんの一部」と話す高木さん。これまで集めたフィギュアやプラモデルなど、まだ収納したままなのだとか。「少しずつ出していこうと思っています」。

この場所は日々の疲れを取り
気分をリフレッシュする場。

たくさんの洋服が納められたウォークインクローゼットをガレージの中から見ることができる。「今やりたいことはクローゼットの中をきれいにすることかな」と高木さん。



真っ白な空間に黒のファブリックを取り入れ、シンプルにコーディネートされた1階の主寝室。高木さんお気に入りのウォークインクローゼットは右手のドアから出入りできる。



Architecture File / no.03
vol.26

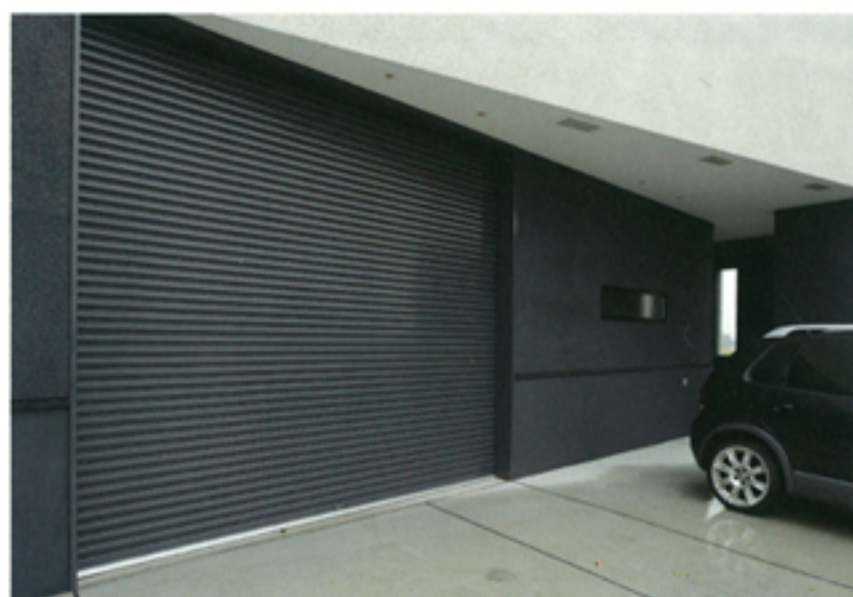
三重県四日市市内、鈴鹿市内で美容室を営む「Rose / meets」の代表・高木さんの新居は、白と黒のモノトーンでデザインされたモダンな外観が特徴で、周囲の家々からもひと際目立つ存在だ。クルマ3台分の駐車スペースが確保された前庭の奥には、高木さんの愛車・ランボルギーニを納めるビルトインガレージが設けられている。

以前は、3LDKのマンションに家族4人で暮らしていた高木さん。「僕は忙しくて、ほとんど寝に帰るだけ。だから、それほど持家志向はなかったんですよ」。しかし、マンションの一部屋を占有するほどの高木さんの洋服に加えて、子どもたちの成長に合わせてモノが増えてきたことや、愛車に乗るためにわざわざクルマで10分ほどの駐車場まで移動しなければならないこと、そして、何より、目の前に愛車がないことのみみしさを感じた高木さんは本格的に家づくりを決意する。

「でも、仕事の都合で、東京や海外で暮らす可能性もあるので、もしかしら将来手放すことも考えられる。それだったらデザイン性の高い家を建てたほうが資産価値も上がるのかなと思ったんですね」。

高木さんが住まいづくりのパートナーに選んだのは、名古屋を中心にさまざまなモノやコトをプロデュースするデザイン会社「グース(goose)」。元々は高木さんが経営する美容室のホームページのリニューアルがきっかけで親しくなり、今では店舗2軒の設計・デザインからプロモーションに至るまでトータルでプロデュースするほどの間柄。特に、今回、高木邸の家づくりを全面的に任された同社代表・高取さんとは、公私ともに親しい仲だそう。だからこそ、「グース」に出した高木さんの要望は、「大好きなクルマと洋服が納まる家にしてほしい」という、実にシンプルなものだった。

多くの経営者がそうであるように、高木さんも日々の仕事が忙しく、帰宅はいつも深夜。さらに、美容業界では指折りのトップスタイリストでもあるため、休日もセミナー講師や研修などでほとんど家にはいないという。奥さまや子どもたちとは生活サイクルも大きく異なることから、高取さんはこの2つの異なる生活サイクルを分けつつも、ひとつ屋根の下で上手に同居させることを考えた。キッチンやリビングなど基本的な生活空間は2階に設け、1階は高木さんのためにガレージや趣



上/ゲスト用の駐車スペースも確保された高木邸。ビルトインガレージには、シンプルをデザインの「三和シャッター」のガレージドアを取り付けた。左/道路側には開口部を極力設けず、シンプルスタイルを実現した外観とは異なり、室内は驚くほど開放的な空間が広がっている。



高木さんが仕事で多忙を極めるため、普段はなかなか家族そろって食事をする機会もないと話す奥さま。それなら、あえてダイニングスペースは設けずに、リビングを広く確保することを優先した。



家事動線を最優先した住空間に子どもたちは伸び伸びと過ごす。

味室、大型ウォークインクローゼットをレイアウト。そして、2つの生活サイクルをリンクさせる場所でもある主寝室は1階に設けて、ここから高木さんの大量の洋服が納まるウォークインクローゼットへと出入りできるようにした。「途中、心が折れそうになった(笑)」と振り返る土地選びには時間を費やしたものの、間取りに関してはとてもスムーズに進められたようだ。

新居に越して1年ほどが経つ今、「僕自身の生活スタイルはあまり変わっていないと思うけど、奥さんや子どもたちは伸び伸び過ごしているなぁと感じますね」と話す高木さん。その住み心地には、家族みんながとても満足しているという。高木さんがガレージでクルマを磨いていると5歳になる息子さんも手伝ってくれるそうで、

身近にクルマがあることでまた違った子どもたちのコミュニケーションも生まれている。

「この家は僕の趣味趣向を理解してくれる高取さんがいたからできたもの。素人である僕が口を出してもチグハグな家になるだけ。僕は、プロであるグースのデザイン力を見せてくれという感じで、高取さんにすべてを託しました。」

子どものころからクルマが好きで、憧れのクルマを手に入れるためにと若いころから仕事も頑張れたと話す高木さん。今は限られた時間の中でしか愛車と触れ合えないが、今後は少しずつでもガレージはもちろん、クローゼットや趣味室を自分なりにアレンジして楽しみたいという。



上/外観からは分かりにくいですが、この家は交差するはさみのように1階と2階が少しずれた形で配置されている。キッチン後ろのカウンターも斜めに。

左/小学4年生のお嬢さんがお手伝いする機会も増えたので、キッチンは広々としたスペースに。幅広いカウンターは、食事はもちろん、子どもたちの勉強デスクとしても使われる。



子ども部屋はリビングを通して入る仕組み。「この家に越してきて、子どもたちが伸び伸びしているように感じる」と高木さん。



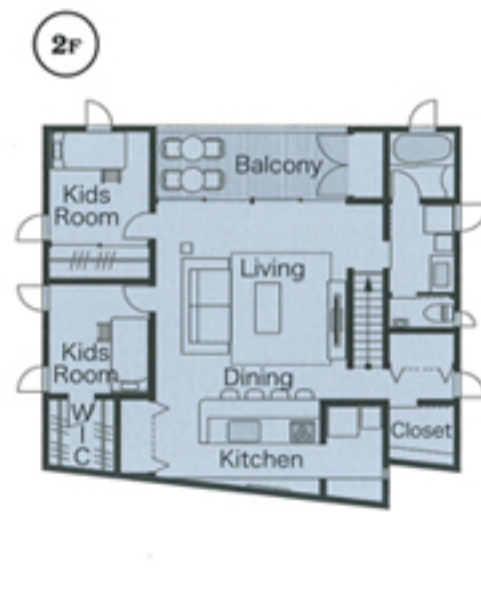
1階に集約された高木さんの趣味空間と、奥さまやお子さまの生活空間である2階をつなぐ階段スペース。



壁一面にシューズクローゼットが設置された玄関スペース。突き当りの窓からは、緑豊かな芝生が植えられた庭を眺めることができる。



モトーンでモダンにコーディネートされたトイレ。壁紙一つとっても、高木さんからすべてを一任された高取さんのセンスが伺える。



Architecture Data

Owner's Check

(✓)自分の家のここがお気に入り
すべてに満足しています。一番よかったことは、自分の趣味趣向を理解してくれる「グース」をパートナーに選んだことかな。

(✓)これからの夢
クローゼットの洋服を整理してギャラリーのように見せたいですね。それからガレージの中にもう少し趣味のものを飾っていききたい。

(✓)読者へアドバイス
やっぱり良いデザイナー、建築家、施工会社に出会うことです。信頼できる人を見つけて、自分たちの夢を託すための潔さが必要だと思います。

Comment from a Builder

無いものしかつけれない。



goose
imagination collaboration

株式会社グース (goose)
高取宏行さん

高木さんは美容室を営まれているので、毎日帰りが遅く、忙しい。そこで、一人で静かに考えたり、好きなことに没頭できる部屋を家の中につくろうと思いました。2階は、奥さまの家事動線を重点的に考慮して、リビングを中心に各部屋をレイアウトしました。店舗の場合はそこに働く人が引き立つような演出は必要だと思いますが、住宅であまり派手なことをすると疲れるので、その点は注意しましたね。高木さんとは長い付き合いなので、好みも十分に理解でき、ほぼお任せの状態だったのでやりやすかったです。これからガレージハウスを建てたい方には、すべてを聞いてくれて、その上で多彩な発想、アイデアを形にしてくれるところとじっくり家づくりに取り組むことをアドバイスさせていただきます。

株式会社グース (goose)
愛知県名古屋市中区橋1-27-9
KURIKI bldg. 3・4F
phone: 052-324-5585
http://www.gu-s.com/

Planning Data

所在地: 三重県
竣工: 2011年12月
施主: 高木さん
家族構成: ご夫婦+子ども2人
構造: 木造2階建
敷地面積: 321.00㎡
延床面積: 165.90㎡
ガレージ面積: 24.77㎡
収納率: 2005年式 ランボルギーニ ガヤルド、
2006年式 フォルクスワーゲン クロスポロ
設計・デザイン: 株式会社グース (goose)